

## 平成 28 年度 H28no.1 徳島県情報交換会 実施報告書

1 日 時 : 平成 28 年 7 月 21 日 (木) 11:00 ~ 20:00

2 場 所 : ①鳴門市  
②阿南市

3 参加者 : 14 名 (3 社)

4 内 容

### ①7/21 (木) 11:30 ~ 電線共同溝工事見学 (鳴門市: 徳島県県土整備部)

鳴門公園線の電線共同溝事業を見学した。鳴門公園線では電線を地下に埋めこむことにより景観が美しくなるだけでなく、道路空間が広くなり歩行者や車も安心して通行できるように整備していた。また災害発生時の電柱の倒壊や電線の破断がなくなり、災害に強い道路になるよう安全面も考慮していた。周辺には県内有数の観光地があるため、観光客にとっても安心・安全な道路となり観光振興にも大きく影響することであろう。



### ②7/21 (木) 14:30 ~ 那賀川・桑野川地震・津波対策工事見学

(阿南市: 四国地方整備局 那賀川河川事務所)

那賀川・桑野川流域では南海トラフを震源とする巨大地震等により液状化現象が発生し、建物や電柱の沈下などの被害に備えるための対策が行われていた。対策として堤防の嵩上

げ、耐震・液状化対策及び水樋門の遠隔操作化・自動化を実施している。この対策により洪水や高潮だけでなく想定される巨大地震クラスにおける津波に対して地域の安全を確保することができる。

#### 〔堤防の嵩上げ〕

既設堤防を嵩上げすることにより液状化で堤防が沈下しても巨大地震クラスの津波を防ぐことができる。

#### 〔堤防基礎地盤の液状化対策〕

液状化の影響が大きい箇所では液状化対策（SCP 工法など）をすることにより、堤防の嵩上げと合わせて堤防の高さを維持し津波を防ぐことができる。

#### 〔水門・樋門の遠隔操作化・自動化〕

津波の到来が予想される場合、現地で人が直接操作せずとも自動的または遠隔操作により安全に水門・樋門を閉鎖し堤防内への津波の侵入を防ぐことができる。

地域住民が安心して生活できるように、万全の対策が取られていた。

現場を直接見ること、より地震津波対策の重要性について学ぶことができた。



#### 〈編集後記〉

現場を直接見学することで工事の過程だけでなく工事の大変さ（工期・規模）も同時に知ることができ、とても貴重な体験ができました。